

<北仙道地区>

	意見	回答	担当 委員会
1	<地域自治組織について>（意見） 地区民の交流を図る、きんさい市を開催した。ユタラボから2人、大正大学から2人の方に、なすのからし漬けを販売するマークを考案してもらった。若い人が来ると地域の雰囲気が変わる。地区外から若者が来ると、地域内の若者が参加するようになるのではないか。	意見として承る。	総務文教
2	<地域自治組織について> コロナの影響で行事が出来なくなり、つながりが切れている。地域自治組織が何をするのか地域での理解が得にくい。自治組織の将来を市はどのように考えているのか。公民館を将来廃止するのではないか。また、雲南市の自治組織を視察しに行ったが、自治組織に様々な事業を委託している。	公民館を廃止する方針は報告を受けていない。今の時点では廃止する方針ではない。雲南市については調査し報告する。 【執行部回答：協働のひとづくり推進課】 地域自治組織の設立支援に際し、市は、地域自治組織のことを「地域のことを一番理解し、考えている住民や団体が自ら地域を住みよいものとするために、自主的主体的に取り組む組織」として住民へ説明をし、それを受け、各地域において設立されたものと認識している。 市は地域自治組織活動を支援するため、まちづくり活動交付金やまちづくり活動特別補助金など活動支援や、地域マネージャー等雇用交付金や地域魅力化応援隊員の配置など人的支援を行っている。 今後も地域の活動が持続可能なものとなるよう、引き続き支援していく。	総務文教
3	<地域自治組織について>（意見） 市町村合併し、地区振興センターの職員を減らし、公民館の仕事を自治組織の中に入れてきた。国の予算を縮小するための合併であった。 今、その弊害が出ている。	意見として承る。	総務文教
4	<議会報告会について> 議会報告会での意見交換でどのようになったのかフィードバックしてほしい。	各公民館に一覧にしたものを返している。（3月下旬頃）	広聴広報
5	<議員定数について> 議員定数を減らしてきたが、地域での諸問題を解決できるのか。議員の定数を減らすことで市民の満足度が上がるのか。	議会のあり方検討委員会で22人から20人にすると決め、12月議会で上程する予定である。事務局体制についても強化するよう検討しており、どこに住んでも不安のない町づくりに向けて議論していく。	議会運営
6	<地域公共交通について> 交通手段の確保が難しい。タクシー利用への補助制度などができないか。	【執行部回答：連携のまちづくり推進課】 本市においては、益田市地域公共交通計画に定める基本方針や基本目標に基づく事業を行っていることから、益田市地域公共交通活性化協議会など委員会等で関係者の方々からのご意見なども頂きながら施策を実施していく。	総務文教
7	<社協のバスについて> 福祉の観点から社協のバスが利用できないか。	【執行部回答：福祉総務課】 利用対象者については、「益田市内に所在する福祉関係機関・団体で、地域福祉活動や福祉に関する研修・視察等の行事（単なる観光目的や営利目的を除く）」となっている。尚、詳しくは、益田市社会福祉協議会のホームページをご覧になるか、電話（22-7256）へお問い合わせをいただきたい。	総務文教

8	<p><有害鳥獣について>（意見） 豚コレラの影響で猪を捕獲しても他でさばけない。そのため、猟友会が本気で狩猟をしない。狩猟期にも補助金を出してほしい。有害鳥獣の被害が深刻だ。</p>	<p>イノシシの捕獲についても影響が出ているのは承知している。今後、議会としても注視していきたい。</p>	経済建設
---	--	---	------